

# Taizé

Pilgrimage of trust on earth



## 黙想と祈りの集い

—テゼ共同体の歌を用いて—

**日時:毎月第1水曜日 19:00~20:00**

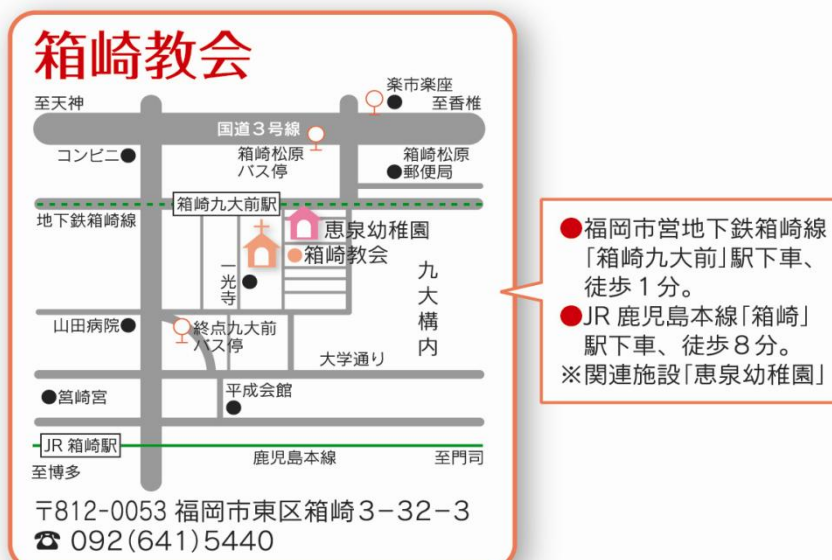
※8月は夏休み、1/1元旦は第2水曜日に変更

**2013年度 4/3,5/1,6/5,7/3,9/4,10/2,11/6,12/4,1/8,2/5,3/5**

**場所:日本福音ルーテル箱崎教会礼拝堂**

<http://www.jelc.or.jp/hakozaki>

お問い合わせは、お電話かメールで牧師の和田まで [wada@jelc.or.jp](mailto:wada@jelc.or.jp)



## 黙想と祈りの集い -テゼ共同体の歌を用いて-のご案内

牧師 和田 憲明

日本福音ルーテル箱崎教会では毎月の第1水曜日、午後7時より礼拝堂で「黙想と祈りの集い」（テゼ共同体の歌を用いて）を行っています。約1時間、静かにロウソクを灯し、ギターの音色で短い賛美をくり返し、聖書のみ言葉を聴く、黙想の時です。

### 「テゼ」とは

この会は通称「テゼ」と呼ばれますが、もともと1940年にブラザー・ロジェが、フランスの小村テゼで始めた男子修道会のことを指します。時は第二次世界大戦の最中、彼は苦悩する人々を助けるために日々祈りの時を過ごしていました。彼が居を構えた小村は、当時フランスを二分する境界線に近く、戦火を逃れてやって来る難民を迎え入れるにふさわしい場所でした。

彼は、荒廃する世界へ向け、平和への想いを共に紡ぐことは出来ないかと考え、沈黙の場、黙想の時として教会を開放したのです。やがて呼びかけに応じた人々が集い、共に座り始めました――

今日テゼ共同体は、25ほどの国々から集まったプロテスタント教会の諸派やカトリック教会を出身とする約100人のブラザーたちから成り立っています。この共同体は、その存在そのものによって、いくつもの教派に分かれてしまったキリスト者や、分裂された人々の和解の印ともなっているのです。（参照『すべての人よ 主をたたえよ（テゼ共同体の歌）』編著者：テゼ共同体、発行所：サンパウロ）

日本においては、全国各地の教会やキリスト教主義学校を拠点に教派を越えて行なわれています。福岡においても、私どもの教会も毎月開いておりますので（※8月は夏休み、1/1元旦は第2水曜日に変更）、この集いが、広く知られれば幸いです（<http://www.taize.fr/ja>）。

日曜日の主日礼拝に出るには何となく気が引けるという方、ちょっと家事を止めて、会社帰りに、あるいはただ何も考えずぼーっとしたい…などなど。「こんばんは。」「さようなら。」の挨拶もそこそこに、ただ礼拝堂の椅子に腰掛けてくださるだけで十分です。そしてご自由に、お帰りくださってかまいません。手ぶらで、お気軽に教会へ来られませんか。ほっと一息つく時間と空間をご用意してお待ちいたします。



**「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」**

（『聖書』マタイによる福音書 11章 28節）

キリストの、お言葉どおりに。